



母校への誇りを胸に

生徒 私は3年間、陽介先生が担任のクラスで、毎日楽しかったです。1年生の時には先生のアイデアで、クラス全員が1人ずつ、クラスメートの誰かの名前が書かれているくじを引き、該当するクラスメートに自分で考えた賞を贈り合いましたよね。あの活動でクラス全員を深く知ることができ、団結力が一気に強まりました。

先生 みんながお互いを認め合い、思いやりのあるクラスになることを目指して提案したんだ。1年生のクラスがよければ、2・3年生でクラス替えをしても、各自がよいクラスをつくらうとするでしょう？ そうすれば、素晴らしい学年になると考えたんだ。

生徒 その通りになったと思います。私は、1年生のクラスで先生を含む全員の一体感に感動して、2年生のクラスではルーム長に立候補し、生徒同士はもちろん、担任と生徒の距離も縮まるよう、担任の似顔絵つきのケーキを作るなど、いろいろな活動を頑張りました。

生徒 先生は、「福高生は社会のリーダーになるんだ」とよく言われていましたよね。自然とその心構えが身につくように、部活動では、部長として周りの見本となろうと頑張ってきました。それが大会での実績につなが

り、スポーツ推薦入試で志望校に合格することができました。進学先でも自分をさらに磨き、先生のように母校の教師になりたいと思っています。

先生 その言葉は、うれしいよ。福高で学んだことを社会に出て生かすことこそが大切であり、それが先生の伝えたかった校訓の「世のためたれ」の意味なんだよ。

生徒 先生が一人ひとりを見て、声をかけてくれたことは、大きな支えでした。私は、部活動と学習の両立が大変で悩んでいた時、先生から、「今が辛いなら、一度区切りをつけるのもよいのではないか」と言われ、退部する決心ができました。部員に私の思いをしっかりと伝えられたおかげで、退部後もよい関係を続けることができ、勉強にも集中できました。

先生 先生自身、この学校で素晴らしい友人や先輩・後輩、先生方と出会い、自分を成長させることができました。みんなにもそうした高校生活を送ってほしいという思いが、教師としての根底にあります。1年生の時から目標を持ち、勉強も部活動も頑張る夢を実現させたみんなは、先生の誇りです。卒業後も次の目標に進むみんなを応援していくよ。

菅野陽介先生 教職歴14年。同校に赴任して4年目。3学年担任。SSH部。柔道部顧問。

福島県立福島高校 全日制/普通科/共学/1学年約320人/2019年度入試合格実績(現浪計) 国公立大は、東北大、福島大、東京大、一橋大、京都大、大阪大、福島県立医科大などに225人が合格。私立大は、慶應義塾大、上智大、早稲田大などに延べ299人が合格。